

令和元年度 第1回徳島県スポーツ推進審議会 議事録

I 日 時

令和元年7月16日（火） 午後3時から午後4時30分まで

II 場 所

旧阿波銀行かちどき橋支店2階会議室

III 出席者

【委 員】20名中13名出席

分木秀樹会長，佐藤充宏副会長，東亜弥子委員，幸田貴美子委員，
住田瑞子委員，関本真美委員，高杉繁樹委員，永原レキ委員，中井優子委員，
中田恵莉子委員，西村洋子委員，吉野誠委員，米本元子委員

【事務局】スポーツ・文化局長，スポーツ振興課長，国際スポーツ大会室長ほか

IV 次 第

1 開会

2 あいさつ

3 議事

- (1) 令和元年度スポーツ関連施策の状況について
- (2) 徳島県スポーツ推進計画の進捗状況について
- (3) 質疑及び意見交換
- (4) その他

4 閉会

《配付資料》

- ・資料1 令和元年度第1回徳島県スポーツ推進審議会資料
- ・資料2 国際スポーツ大会に向けた徳島県の取組み
- ・参考資料 令和元年度第1回徳島県スポーツ推進審議会資料【参考資料】

V 議事録

☆会長

これから議事に入る。議事（１）「令和元年度スポーツ関連施策の状況」、（２）徳島県スポーツ推進計画の進捗状況」について事務局から説明をお願いします。

議事（１）「令和元年度スポーツ関連施策の状況」及び議事（２）「徳島県スポーツ推進計画の進捗状況」について

◆事務局

（資料１，参考資料により担当者から説明。）

☆会長

それでは、ただいまの事務局からの説明について、御質問をいただきたい。

☆会長

皆さん考えていらっしゃる間に私の方から、３１ページの「法人取得により助成が得られる制度」とあるが、法人取得によってどのようなメリットがあるのか、これが１点目。

もう１点、３２ページのウォーキングイベント参加者数が平成２８年度３，１４７人、平成３４年度には倍増と、なかなか大変であるが、倍増するための対策等何かあるのであればお聞きしたい。

◆事務局

t o t o助成において、法人格を有するクラブが受けられるものがあるほか、他の助成制度においても法人であることが資格要件となっているものがあり、そうした助成が受けられるようになる。

また、助成制度以外でも、指定管理制度の受託者になり得るなど、自治体との契約も締結しやすくなるといったメリットがあるということで、法人取得を進めている。

ウォーキングイベント参加者数倍増については、厳しい目標値と認識はしているが、ウォーキングは、多くの人が取り組みやすいスポーツ・運動ということで、いろいろな事業にウォーキングを取り入れて、と考えている。

たとえばスポーツ王国とくしま推進会議との共催で実施しているファミスポカーニバルにおいてウォーキングを実施するとか、今年から新たに実施する無関心層０（ゼロ）プロジェクトでもウォーキングを進めていくなど、ウォーキングをする人を増やしていきたいと考えている。

◆事務局

会長おっしゃるとおり、進捗状況をみると、むしろ減っているというところもあるが、健康づくり課とか、福祉部局とも連携して、しっかり取り組んで、目標を達成できるようがんばっていききたい。

○委員

オリンピック聖火リレーについてお聞きしたい。

41人を募集ということだが、県実行委員会では41人だけでも、全コースを走るのはもっと多いということか。

徳島ゆかりの方ということだが、ゆかりのある方から多数募集のあった場合に、アトラダムに推薦するのか、恣意的にというか、何かを見て選んでいくのかお聞きしたい。

◆事務局

走る人の数は、組織委員会の方から、多くのレギュレーション、制限が課せられている。

まず、最終決定をするのは組織委員会ということになり、県では案を出すという所までであり、正確な数字を今個々で出すということとはできないが、1日あたり大体80人から90人のランナーが走ると聞いている。

徳島県は2日間なので、160人から180人がランナーとして参加される。その中の都道府県実行委員会で募集できる人数は全国の都道府県同一、1日あたり22人×日数、2日なので44人、うち41人を公募の対象とした。

あとの方は推薦という形になる。例えば最終ランナーとか、こういう方をお願いしたいというような。この考え方も必要最小限を推薦としている。3名以外のほとんどの方を募集とした。一人でも多くの方に御応募いただいてランナーとして走っていただきたい。

41名の公募を行うということになるが、全体を走る人数というのは決まっていないというのが現状。

徳島県にゆかりがあって、2020年に中学生以上であれば、当然多くの方から応募をいただくことになるが、その場合どうするのか、抽選をするのかという御質問をいただくが、抽選は行ってはならないという組織委員会からのレギュレーションがあり、抽選は行わず、必ず選考する。

県ホームページの中に実行委員会のページがあり、募集を行っている。応募用紙には、非常に多岐にわたって記載欄をつけている。どうして応募するのかとか、過去の大会との関係とか、推薦者のコメントとか、いろいろ文章で書いていただく項目があり、これを参考にして県実行委員会においてランナーの推薦を行う。そしてこの推薦を基に最終的には中央の組織委員会が決定するという流れになる。

○委員

国際スポーツの方で、キャンプに応じてパブリックビューイングなど、いろいろなことが催されるような説明であったが、来ていただきたいメインターゲットは、ラグビーをやっている人とか、スポーツをしている人なのか、それとも幅広く、いろんな人と考えるのかで切り口が違ってくるのではないかという気がする。例えば、あまり運動をしない人であれば、ラグビーでは来ないかもしれないが、例えばジョージアという国の文化や食べ物であれば、違うターゲットがくる可能性があると思うが、どう考えているか。

ウォーキングの倍増について、いろいろな健康づくりの事業は日時が限定されているので、ウォーキングというのは手軽に始めやすいと思うが、県有施設の中でも、夏であれば夜の方がウォーキングしやすいと思うが、結構暗い。公園の中が暗いので歩けないとか、

つまづくからいやだというような環境的な要因もあると思う。事業ではないが環境整備という点で手立てを考えているかお聞きしたい。

◆事務局

ラグビーの練習の見学については、幅広く皆様にお越しいただきたい。ラグビーに興味のある方はもとより、いろんな方、ラグビーに興味のない方も是非この機会に御覧いただきたいと考えている。

委員から御発言いただいたような、文化や食べ物という切り口も必要と考えており、期間中、土曜日には、球技場の前にファンゾーンという、屋台みたいな物、ヴォルティスの試合前にテントが並んで、いろいろな催し物が行われているのを想像していただいたらと思うが、「ファンが集う場」という意味で、ファンゾーンを計画している。

ファンゾーンでは、ジョージア文化であるとか国の御紹介、ジョージア料理、食べ物の振る舞いなどを行って皆様のお越しをお待ちしたいと考えている。現在、ラグビー関係者以外の方にお越しいただくための取組として、特にキャンプの実施地となる鳴門市などの小学生、中学生、高校生をお願いをして、白い幟をお渡しして、ジョージアを歓迎する言葉とか絵を紙に書いていただいて、それを幟に転写する、その子ども達の直筆の応援が幟になる、そして球技場に展示するという取組を実施している。

ジョージアを応援すると、ラグビーワールドカップやジョージア代表に興味をわき、実際に足を運んでいただけることを期待している。また、お子さん、お孫さんの絵が展示されるということで、御家族の方にも足を運んでもらえる。

こうして、いろいろな世代、御趣味の方々にラグビーワールドカップやジョージア代表に触れていただきたいと考えている。

◆事務局

県庁内にもバナーとかいろいろな飾りをしている。徳島空港にも懸垂幕という形でやっている。

◆事務局

ウォーキングを進めるための環境整備、例えば夜間照明といった整備は予定がない。

◆事務局

サイクリングコースも含め、いろいろな御要望をいただいている。防犯も含め、明るいに越したことはないが、まずコース作りのようなものが前提となっており、その次に、ということで、なかなか。ただ非常に重要な視点であるので、防犯の観点からいいますと県土整備部とか危機管理部とも、御意見を参考にさせていただきたい。

○委員

ウォーキングということが出たので、ひらめいたのですが、スポーツと文化を結びつけるということで、徳島で歩くといえれば、お遍路。お遍路文化に携わっている方々を取り込むというのはどうでしょう。という切り口は僕ならではだと思うが、「歩くでつながる、

とくしまでつながる」っていう、異業種でも接点があるところと積極的にコンタクトを取っていく、情報共有していくということは有効的。自分自身お遍路で歩いたが、歩くことによって全然興味なかったが、目的になったり、地元を知る勉強の機会にもなるし、一石三鳥くらい、糖尿病も予防できますし。世界遺産に向けてお遍路に関わっている方々もそれを広めたいので、いろいろな人との交流を求めている方も多いと思いますし、どうでしょうか。

その際に、歩くことに関わるメーカー、若者とかを引き寄せようと思うと、例えば僕はお遍路したときにK E E Nという海外のブランドなんですけど、別にどこのブランドでもいいんですが、歩くとかアウトドアとか、ネイチャーとか、文化というのをテーマに切り出してプロモーションしているブランドがある。僕はというブランドにサポートしてもらって#（ハッシュタグ）をつけてアップするとか、K E E Nからも物品提供してもらったりとか。参加する人にどこかのブランドがタイアップしてやるとか、僕ら世代ファッションから引き寄せるといふか、お互いブランドイメージが上がりますし、歩くと言えそんないアイデアが今出ました。一意見です。

◆事務局

たとえば、ノルディックウォークの方がお遍路を切り口とした取組をされているが、どうしても若い方とウォーキングが結びつきにくい部分があったので、参加者の層を広げるという意味で、ファッション感覚を取り入れたウォーキングというのは、新たな層への開拓にも繋がるかと思うので、是非参考にさせていただきたい。

○委員

ちょっと野球に特化してしまうが、東京2020オリンピックに向けた強化キャンプネパール代表チーム合同実施ということで、J Aバンク蔵本公園で2019年7月30日から9月11日が決定ということをお聞きしたが、私どもの方でも公式戦がJ Aバンク徳島スタジアムで8月4日を皮切りに8試合ある。

議題とか、取組とか、今後の取組とかに上がっているとは思いますが、練習中にファールボールがプールに飛んでいたり、加茂名中学校の方にも、公道にも飛んでいくということで、私たちは事前に加茂名中学校の方へ、練習するのでこの時間帯はあまり外へ出ないようにとか、ファールボール警告の笛であるとか、掲示など注意喚起はしているが、これが重なったときに、36ページで、国際スポーツ大会の誘致対象競技をはじめとした施設の利用環境の向上というので、令和元年度取組予定として、J Aバンク蔵本公園、J Aバンク徳島スタジアム防球ネットの改修の推進とあるが、この進捗状況とか、これが事前キャンプに間に合わなかった場合、安全面でどう考えているのかお聞きしたい。

また、同時期に公式戦を開催するので、提案レベルではあるが、競技の垣根を超えて水泳の皆さんとネパールの皆さんを公式戦に招待するとか、できたらと考えている。

◆事務局

防球ネットについては、昨年度、団体から要望を受け、今年度から整備に着手したところであり、今設計をしており、オフシーズンから工事に着手できるよう考えており、今年

度と来年度２カ年で防球ネットを整備して、その後で両翼拡張についても要望ありましたので、そうしたものに組み込んでいく。

工事中には御迷惑をおかけすると思うが、御協力をお願いしたい。

◆事務局

ネットの改修は事前キャンプには間に合わない、従前どおりの対応ということになるが、まずは公式戦の時間帯とネパール・カンボジアの練習の時間帯の合致するところを改めてピックアップし、選手に当たるといった事故のないよう配慮、対応はとっていきたい。

ありがたいお申し出いただきました。ネパール・カンボジアの皆様をインディゴソックスの観戦ということで、たぶん向こうの国では野球がメジャーなスポーツでないとお聞きしているので、御覧になるのも初めてかもしれないので、御紹介して日本のプロの野球を体感していただけたらと思う。こちらコーチ等との調整が必要なことであるが、１つの御提案として、実現できたらと考えているので、具体化できるよう進めて参りたい。後ほど詳細教えていただきたい。

○委員

ありがとうございました。防球ネットはオロナミン C 球場でも同様にファールボールが飛び出るので、散歩している方、他の施設を利用している方が危ないというので、野球団体独自なのか、県であるのか、危険告知の看板、進入禁止など作っていただいて、それを利用団体が共有するという形になっているので、同様に蔵本のほうでも考えていただきたい。

○委員

資料の２２ページの小学校５年生、中学校２年生の「運動能力調査」で全国平均を上回る競技数について、ユニバースの関係で関東へ講義を受けに行っていたが、今の子ども達の運動能力が低下しているという話があった。特に体力が落ちていると。

ここにも、小学校５年生、中学校２年生といわれているが、特に中学校の子達だと思うが、運動する子、運動好きな子がいない。この資料を見せていただくと、小学生であったり、年配の方だったり、成人した方の運動のことが書いてあるが、中学、高校、大学のあたりには、どのような運動に対する取組を行っているのかよくわからない。

それと、全国平均を上回る競技が１０種目というのは、全国で何番目くらいか。他の県は大体何種目くらいで上回っているのか、お聞きしたい。

◆事務局

体力のこれまでの全国順位について、平成３０年度は小５男子２８位、女子３０位、中学２年生で男子は３３位、女子３６位ということで小学生では順位的には中学生より上位になっている。

全国平均以上の種目について、小中学校合計３４種目中１０種目ということで、手元の資料ではそういう結果は出ている。

高校は調査自体がとれていないので細かい数字がありません。

◆事務局

委員から御質問の小中学生にとどまらず、生涯スポーツの観点で、高校生だったり、大学生だったり、高齢者も含めてしっかり運動していかないかんというところでございまして、その数字というのはないんですけれども、県ではインターネット等を利用したeモニターという制度があり、毎年、1週間に数回程度とか1回以上とか、運動をする方の調査をする予定にしておりますので、そういった数字も加味しながら、しっかりと取り組んでまいりたい。

○委員

ブルーの資料（資料2）14ページに、（ワールドマスターズゲームズ2021関西の競技種目が）公式競技、オープン競技に分けられていて、オープン競技の中に「吉野川中流域でのラフティング」というのがある。

ラフティング競技をこの中に入れていただいているが、ラフティングは、まだマイナーで、あまり知られていない。皆さんに知ってほしいということで、三好市ではラフティングとかウェイクボードで、スポーツツーリズムで観光の後押しをしようということで、ウォータースポーツのまちづくりを推進している。

2つの世界大会のレガシーをどう使っていくかというところで、今年は、まず中四国ウェイクボードの大会を池田湖でまたやる。みなさまに資料を配付しているが、ウェイクボードの大会は3日間行われ、この内1日を市民がウォータースポーツにチャレンジするという日を作った。みなさんがスポーツに入りやすいようにということで、体験はすべて無料にして、まずはライフジャケットを付けるところから始めようっていう講習会を行う。あとは好きなように、ラフティングとかバナナボートとか親しんでもらう。ラフティングについては、情熱大陸とかいろんなところで見ていただいて、激流の中を漕いでいく、一般人にはできないんじゃないかという感じがしますので、今回のラフティングは、静水で池田湖で、まずは基本をやってみようということを入れた。それを続けていくと、2年後のワールドマスターズゲームズ2021関西にたくさんのラフティングのチームの方が参加していただけたらと思います。そして、海外の方に来ていただけたらうれしいんですけれども、なかなかできないので、まずは県民の皆様、スポーツ審議会の皆様にラフティングのことを知っていただいて、6人、4人概ね30歳でチームができますので、そういうチームを作って参加していただけないかなと思う。特に中田委員、それから徳大の関係の方とか若い方がチームを作って。ワールドマスターズゲームズ2021関西に参加していただけたらなと思ひまして、直接関係はありませんが紹介させていただきました。

☆会長

SUPとありますけど、資料の中にもSUPの拠点化、ついこのあいだテレビを見ましたら阿南市でも拠点化をすると、県が川口ダム湖の方で拠点化すると。それぞれ連携取っていただいて進めていただいたら非常にありがたいと思う。

○委員

8 ページに障がい者スポーツのことがたくさん載っているが、具体的にどのような事業なのか。例えば障がい者スポーツ指導員設置事業、障がい者スポーツ指導員とはどんな人で構成しているか、教えていただきたい。

◆事務局

3-11の全国障害者スポーツ大会派遣事業、3-13の障がい者スポーツ大会開催事業は県大会を開催し、その中で優秀な成績を収めた者を全国大会へ派遣する事業。

障がい者スポーツ指導員設置事業というのは、スポーツ指導員さんはたくさんおいでと思うが、その上に障がい者の特性に応じた配慮のできる指導員さんを養成しておりまして、その事業におきましては、一人常勤でスポーツ指導員を設置しており、それに加えて新たな指導員の養成、諸々の事業にとりくんでいただいている設置費。

障がい者スポーツ振興事業（再掲）は、地域の障がい者スポーツの振興を図るために諸々の事業を実施しており、パラリンピックに向けた出場選手の育成・強化を支援するパラリンピック選手育成・強化事業や、障がい者スポーツ推進プロジェクトといいまして、スポーツや教育、障がい者福祉関係との連携による障がい者スポーツの普及方策の検討、事業の進行管理、事業成果の検証などを行っている事業。

また、障がい者スポーツ協会の活動を支援する障がい者スポーツ環境支援事業も行っている。

これらを併せて障がい者スポーツ振興事業となっているところ。

○委員

前回の審議会でも質問したが、オリンピックはいろいろと事業があるが、パラリンピックは事業がないのか。

◆事務局

ドイツ・カンボジアは、ホストタウン登録制度があると説明させていただいたが、パラリンピックにおきましても同様にパラリンピックのホストタウン制度というのがある。事前キャンプを実施する国もある。事前キャンプを実施する国がある場合には、我々も受入等々考えていくところであるが、オリンピックと異なるところは、事前キャンプまで行うパラリンピックの選手団は国は少ないというのが現状。そういった中、事前キャンプの実施も見据えた誘致をどこまでやっていくのかというのは、我々も試行錯誤している。

とはいえ、パラリンピックを契機に障がい者同士の交流、障がい者スポーツの機運醸成も必要であるという認識も持っているのでパラリンピックを通じた県内での選手の交流などできないか、現在事前キャンプを含めての調整、展開の検討を進めているところ。

○委員

パラリンピックでは辰巳博実選手（上板町出身、パラカヌー、チェアスノーボード）、山本敦選手（走り幅跳び）、この方は県出身ではないが、海陽町出身の同級生が結婚して毎年徳島にいられていたり、それ以外にもいらっしゃると思うが、もし具体的な誘致の情報、予定がないというのであれば、県ゆかりの選手に何かしら関わっていただける企画を

して、そういった方とアクションを起こすというのはどうか。

パラリンピックの開会式・閉会式のディレクター栗須芳枝さんも、先日も来県していた。何かしら接点があると思うので、御縁を活かさない手はないので、もし予定、企画がないのであれば、ある程度企画をして、声をかけていってはどうか。

◆事務局

ジョージアのラグビーキャンプが実現したのも、林さんという徳島ゆかりの方の繋がりによって。人のつながりを結んでいくというのは非常に価値のあることと思いますので、参考にさせていただきたい。

☆会長

時間も迫ってきたが、どなたかもうお一人、御質問、御意見をお伺いいたします。

○委員

ウォーキングの時に照明の話が出たが、田宮が改修工事中ですが、改修工事に入る前、夜6時か7時になったら電気が消える。学生は授業が終わって4時半くらいから練習に行ってたんですが、真っ暗になってロープも使えないということを言って、非常に練習ができない。せっかくいいグラウンドがあるのに、それが時間が短くて、早く閉まってしまうからもったいないということを私も感じた。

先ほどから私は運動の話をさせていただいているが、鳴門・大塚スポーツパークは、野球とか陸上、サッカーといろんなことができるし、徳島で一番大きな運動場かと思うが、そこへのアクセスが不便と感じる。鳴門駅からも離れているし、バス停からも気持ち離れている。スポーツ選手はいろいろと道具を持って行く競技が多いので、まずアクセスをしやすくして、みんなが気軽に使いやすい仕組みを作って運動してもらおう。

そういう大きなスポーツ施設もあるわけではないので、一つあるその運動施設を有効に活用するために交通手段の改善に取り組んでいただけるとありがたい。

私の大学も、徳島県の人口増加に少しでもと、県外からも大学生、高校生の勧誘をしているが、そういう子達は足がないので、どこへ行くにも不便。自転車で片道1時間かけて行ったという学生もいる。スポーツをどんどんやりたいという子達がスポーツをしやすい環境をつくる取組みをしていただけるとありがたい

先ほども、小学校、中学校の運動能力のことをお話させてもらったが、徳島県では、よく国体とか、そういうものでは中学校以上の選手が非常に重要になってくる。私も国体とか出させていただいて、県からも支援をいただいているが、中学校以上の運動能力の向上が大事。できるだけそれがしやすい環境をつくってあげる。他県などでも競技場の近くにはバス停とか駅があって、学校終わりでも、みんなが気軽に行けたりとか、仕事帰りの大人の方達も夜遅くいっても照明がついていたりとか、そういった環境が徳島との大きな違いと感じるので、是非やっていただきたい。

◆事務局

今いただいた御意見は、スポーツ振興に限らず、二次交通の弱さといえますか、いろいろ

ろなところで本県が指摘されている。例えば鉄道であれば、パターンダイヤというふうなことで、いつも同じ時刻に発車する、そういった工夫もいろいろしている。現在のところバスとか鉄道とか含めて臨時便を施していく、DMV（デュアルモードビーグル）も増やしていく予定である。環境が大事というのは、われわれも同じ考えであるので少しでも前へ進めるよう問題意識をもって取り組みたい。

☆会長

ただいま委員の皆様から貴重な御意見をいただきました。本日いただいた御意見は、今後の施策にできるかぎりだけ反映していただけるようよろしくお願いします。

最後の議事、その他について事務局から何かあればお願いします。

（事務局説明）

☆会長

以上をもちまして、議事を終了したいと思います。

議事進行への御協力、ありがとうございました。

それでは、事務局へお返しします。

事務局 （閉会）